

さるまげんき王国

保健福祉課保健推進係
Tel 2・1212

水痘（水ぼうそう）とは？

《症状》

水痘（水ぼうそう）は身近な病気で、意外と軽く済むという印象があり、できればかかってしっかり免疫をつけたいと考えている方も多いのではないのでしょうか。平成26年10月1日から水痘（水ぼうそう）ワクチンが定期の予防接種になります。水痘は重症化すると最悪の場合、死にいたることもある病気です。

自分自身が水痘に感染しないため、そして、自分が感染した場合、周囲の方へひろげないために、今回は水痘とはどのような病気なのか、定期接種の対象者や回数などについてお知らせします。

水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。だるさ、37度程度の発熱、食欲の低下などが現れ、その後、小さく平らで赤いブツブツ（発疹）が出ます。通常はおなかや顔に現れることが多いようですが、全身どこにでもできます。発疹は初め、虫さされやあせもと似ていて、診断ができないこともあります。数時間後には発疹がふくらんで水ぶくれ（水疱状）になり、体中にバラバラと広がり始めます。水ぶくれには強いかゆみがあるので、赤ちゃんは不機嫌になります。また、かきむしってしまうと、爪や指から雑菌が入って化膿してしまい、跡が残ってしまうこともあります。その水ぶくれがかさぶたになって治ります。体中にできた全てのかさぶたが剥がれ落ちるまで、約3週間程度かかります。

《流行時期》

毎年、春先に流行します。水痘は人から人への感染力がとても強い病気です。この時期は入園や入学、入社などで新しく集団生活を迎える時期ですので、特に注意が必要です。

《感染期間》

ウイルスは私たちの口や鼻から、のど（気道の粘膜）に入り込んで体の中に進入します。感染している人は、発疹が現れる1〜2日前からウイルスを

発疹や水ぶくれが現れる場所



水痘の症状



痘に感染した場合と同じ流れで免疫が得られ、その後、感染した時に発症しない若しくは発症しても症状が軽く済みます。ワクチンを接種すると90%以上の人はウイルスに対する免疫ができます。1回のみの接種では15〜20%くらいの方が水痘を発症するといわれ、定期接種を実施する際には2回接種することとなっています。接種した後の副反応は接種した部分が赤く腫れたり、発熱したりすることがあります。また、接種してから約1〜2週間後に発熱や発疹など水痘のような症状がでることもあります。症状は軽く、水ぶくれができることはほとんどありません。

定期接種対象者と接種回数

定期接種対象者	回数	接種間隔	接種場所
生後12ヶ月から36ヶ月に至るまでの間にある方 (1歳の誕生日前日から3歳の誕生日前日まで) ◎1回目の標準的な接種時期は生後12ヶ月から15ヶ月までの間 ◎2回目の標準的な接種時期は1回目接種後6ヶ月から12ヶ月を経過した時期	2回	3ヶ月以上の間隔をあけて接種	クリニックさるま
※平成26年度中のみ経過措置対象者 生後36ヶ月から60ヶ月に至るまでの間にある方 (3歳の誕生日当日から5歳の誕生日前日まで)	1回		

※すでに水痘にかかった方は定期接種対象外となります。

※任意接種（保護者の判断のもと直接病院で接種した予防接種）で水痘ワクチンを接種した方は、実施した回数分の定期接種を修了したものとみなします。

※定期接種対象外（任意接種）で水痘ワクチンの接種を希望される方は、助成制度もありますので役場保健福祉課保健推進係までご相談ください。

水痘の予防接種、その他の予防接種に関することは…

☆定期接種対象者、経過措置対象者には、役場から個別に案内通知と予診票、定期接種の受けられる日程についてお知らせしますので、早めに接種することをお勧めします。定期接種日の1ヵ月前から前日まで接種の予約ができます。予約、その他の予防接種に関する相談、申込などについてはお問い合わせください。

《予防接種に関するお問い合わせ 役場保健福祉課保健推進係 Tel 2・1212》

水痘が重症化すると…？

体外に排出し、その頃から他の人へ水痘を感染させる可能性があります。また、水ぶくれの中の液にもウイルスが含まれ、そこから感染する恐れもあります。水痘は学校保健安全法の予防すべき感染症にも位置づけられ、全ての発疹がかさぶたになるまで、出席停止期間と定めています。それまでの間、外出は控え感染拡大を防ぎましょう。

小児における重症化は、熱性けいれん、肺炎、気管支炎などの合併症です。成人での水痘もまれに見られますが、成人で水痘を発症した場合、水痘そのものが重症化するリスクが高いと言われています。水痘は全国で年間約100万人が発症し、その内約4,000人が入院、20名ほどが死亡していると推定されています。死亡数で見ると、**はしか**による死亡を上回り、特に重症化しやすい新生児、免疫機能の低下している方、妊婦などへの感染をできるだけ少なくすることが重要となっています。

水痘ワクチンでどんなもの？

水痘ワクチンは、病原性を弱めた水痘のウイルスを用いた生ワクチンです。このワクチンを接種すると、自然の水